

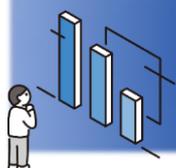
令和7年1月9日

都内私立中学高等学校
校 長
社 会 科 教 諭 殿
関 係 教 職 員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 平方 邦行
文系教科研究会委員長 畑澤 正一
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

東京私学教育研究所

文系教科研究会（社会・公民）委員公募のご案内



新春の候 先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究所文系教科研究会（社会・公民）では、令和7年度以降の事業を実施するにあたり、公民分野の委員を公募いたします。

皆様ご存じの通り、2022年度から高校で完全実施された新学習指導要領において、地理歴史科では「地理総合」並びに「歴史総合」が新たに必修科目として設定され、公民科では、「現代社会」の代わりに新科目「公共」が必修科目となりました。現在は主体的・対話的で深い学びを実践するため、主権者教育や消費者教育の充実を図るなど、内容・指導法ともに様々な工夫や準備を行っていることと思われまます。

当研究会では、学習指導要領の趣旨を見据えつつ、私立学校における社会科教育の更なる充実を図るため、今後も時宜にかなった様々な研修会を企画・実施してまいります。この度当研究会の委員として、更なる研修内容の充実を目指し、一緒に研修会の企画や運営等の活動をしてくださる熱意ある先生を求めていますので、奮ってのご応募を心よりお待ち申し上げます。

記

1. 募集人数 若干名 ※社会科、特に専門分野が公民の先生
2. 委員の主な役割
 - ①研修会（講演会、見学研修会、実践報告会など）の企画・立案。
 - ②研修会当日の運営（司会、記録など）。
 - ③その他
※年間3～4回ほど委員会を開催し、事業計画や運営方針などについて協議します。
3. 就任に当たって
 - ①任期は1期2年で、更新については、任期終了時にその時の双方の状況を踏まえ、更新確認をします。なお最大でも3期：計6年とします。
 - ②再任の場合は、本研究会の在任期間と同一の年数を空けること（例：6年務めた者は6年空ける）。
 - ③対象の研究会委員に、同一校の教職員がいないこと（委員長との重複を除く）。
 - ④現在、専任教員であること。

4. 申込方法・申込期限

下記の研究所HPより申込書をダウンロードし必要事項をご記入の上、2月28日(金)までに、FAXまたは郵送でお送りください。申込書到着後、受理のご連絡を担当者より申込書に記載のE-mail宛にお送りいたします。

URL <http://k.tokyoshigaku.com>



5. 応募結果について

応募者に3月下旬までにE-mailもしくは電話にてお知らせいたします。

6. 今後のスケジュール

「令和7年度 文系教科研究会 合同委員会」

日時：令和7年4月17日(木) 18:00~20:00(予定)

場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館) 会議室(千代田区九段北4-2-25)

※委員就任後の最初の会合となりますので、可能な限りご出席ください。

7. その他

参考資料の送付などにも応じます。ご不明な点などございましたら、ご遠慮なく下記までお問い合わせください。

東京私学教育研究所 文系教科研究会(社会・公民)

担当：板澤・松田

〒102-0073 千代田区九段北4-2-25 私学会館別館4階

TEL 03-3263-0544

FAX 03-3263-0560



【参考】近年の事業実施状況 ※詳細については、研究所HPをご覧ください。

●令和7年2月25日(火) 実施予定 「講演会」

「統計・計量分析の活用術「データ・サイエンス」入門」

講師：明治大学商学部・明治大学大学院商学研究科専任教授 千田 亮吉先生

●令和6年8月27日(火) 実施 「見学研修会」

「SHIBUYA QWS -社会課題解決の宝庫：未来を拓くイノベーション-」

●令和6年3月29日(金) 実施 「ギャラリーツアー」

「森美術館 -私たちのエコロジー：地球という惑星を生きるために-」

●令和6年3月7日(木) 実施 「授業実践報告会(公共)」

「A 公共の扉」

「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」

「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」

テーマは自由だが、特にA~Cの3点を踏まえた内容を3名から報告